

愛媛大学における照明 LED 化事業に係るサウンディング型市場調査 の対話結果の公表について

令和8年7月10日

本学におけるリース方式、ESCO 方式等を活用した照明の LED 化事業について、民間事業者との対話を通じ、今後実施する LED 化事業の公募条件検討に資することを目的として、サウンディング調査を実施しました。このたび、本調査結果において得られた主な意見等を取りまとめましたので、その概要を公表します。

1. (サウンディング対象の土地、建物等)

敷地：愛媛大学城北団地 他

所在地：愛媛県松山市道後樋又 10 番 13 号、文京町 2 番 5 号、文京町 3 番 他

2. サウンディングの実施スケジュール

令和8年 3月 2日	サウンディング実施要領の公表
令和8年 4月24日～令和8年4月28日	ヒアリングの実施
令和8年 7月10日	サウンディング結果概要の公表

3. サウンディング結果の概要

- ・応募参加者：3 グループ
- ・主な意見

- ☐ 契約方式については、「業務委託」「ESCO」「リース」「公募型プロポーザル式リース」など、複数の手法による提案があった。
- ☐ LED 需要の高騰により照明器具の納期が最大 6 か月程度かかる状況であるため、キャンパスを複数に分け、段階的に事業を進めることが現実的であるとの意見が示された。
- ☐ 正確な積算および使用機器の確定を行うためには、事業実施前の現地調査が不可欠であるとの意見があった。
- ☐ 倉庫等の使用頻度が低い施設においては、照明工業会の安全基準に適合した直管型 LED ランプの採用が、コスト削減の観点から有効であるとの意見があった。
- ☐ LED 照明器具は近年、短期間に複数回の価格改定が行われていることから、契約にあたっては価格変動時の協議に関する条項を設ける必要があるとの意見があった。

4. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

本調査により、照明 LED 化事業については、複数の契約方式において事業化の可能性があることを確認しました。

今後は、本サウンディング結果を踏まえ、事業規模、事業期間、価格変動リスクへの対応等を総合的に勘案したうえで、本学によって最適な契約方式を選定し、事業公募の実施に向けた具体的な検討を進めていきます。